



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：松崎 浩 幹事：野沢 達也 発行：会報・広報委員会

第 2992 例会 (22号) 2015 年 12 月 10 日 (木) 晴

外部卓話 SPEECH

式正の茶の湯



安藤家御家流緑天会
主宰 武藤 宗安(真一)氏

私は2年前に、この例会に招かれ「カジキグルメ」の話をさせていただきました。おかげさまで、先月、農林水産省が共催する「フード・アクション・アワードニッポン2015」で震災後に地域の特色を生かしたグルメを啓発普及し、復興に寄与しているとして優秀賞を受賞しました。これも皆さまのご支援のおかげと思ひ、心より感謝いたします。

本日は、幕末まで旧磐城平藩主だった安藤家に伝えられた御家流茶道について、話をさせていただきます。茶の湯にも様々があり、一般に知られている「佗茶(わびちゃ)」と、あまり知られていない「式正(しきしょう)の茶の湯」があります。安藤家御家流茶道は式正の茶の湯です。

式正とは室町時代の足利将軍が家臣である大名のところへ、おなりする時にもてなした供応の礼法とされています。故実礼法(伊勢流)による床の間の飾り、違い棚及び書院床に唐物道具を用いての台子(だいす)飾りに若き侍による点前で、武術のしぐさなどを取り入れた華麗、荘厳な趣のある茶の湯です。

式正の茶の湯は、安藤家の御家流だけが唯一の作法として残っているそうです。御家流は子孫のみに伝えるだけで、他に広める必要はないので「お留流」と言われます。「佗茶」の方は一般的に広まっており、裏千家、表千家など知られている流派があります。安藤家は今も平の地にゆかりの人がいることから当主の方が定期的に訪れ、私どもが教えを受けているのです。

安藤家御家流の伝承は、千利休に始まり、弟子の一人の細川三斎—尾伊織—米津田賢—安藤信友公(四代)に伝えられました。また、伝承した伊勢流は足利将軍が使われた礼法だそうです。安藤家は徳川幕府の老中を務めたことから、御家流が儀式として間違いの

ない老中の茶の湯として伝えられたのです。

作法の中に「真」「行」「草」という点前があります。眞の点前は台子の棚を用い、将軍や公家ら目上の方をもてなす献茶の点前となります。それを少し崩したのが行の点前。これは長板という漆塗りの板の上に道具をしつらえて作法にのっとり行うものです。草の点前は平置きの前と言われ、畳の上に道具を置いて基本的な作法で行います。最初に習うのが基本の草の前前で上達するに連れ、行、真と入っていくのです。

御家流の所作は、典礼の所作に加え武道の所作が入っています。小野派一刀流のほか弓道の所作も加わり、武道の極意である「中心から始まり中心に終わる」という道具の扱い方に反映されています。

作法の一例を紹介すると、足袋は左足から履く(袴も同様)。武将がどこから襲われても対応できる隙のない構えを取るためだと言われています。玄関を出る時は右足から、入る時は左足からという作法があります。そして、部屋に入る際は頭または胸から入るとされています。時代劇などでも侍が部屋に入るのを見ると胸から入っているようです。皇族の方もいったん立ち止まって胸から入られています。座り方では「跪座(きざ)に座る」といって、ふくらはぎに紙一枚が入るくらいすき間を空けて座り、いざという時、いつでも立ち上げられるようにします。

最後に安藤家御用達の献上粕てい羅を紹介합니다。カステラはポルトガル人が長崎に製法を伝え、鎖国令が敷かれた時、安藤家二代の重長公が長崎から来たオランダ人に江戸の菓子職人に伝授させたことに始まり、茶席でも使われています。磐城平では大平楼というタイハイドライバーズスクール社長の高萩阿都志さんの店で作られ、安藤家御家流の焼印が押されています。一番の特徴はカステラの底にザラメ砂糖が用いられて、食感が昔ながらのカステラといった感じです。私は東京へ行く時の土産に重宝していますので、皆さんも、ぜひご利用なさってください。

★本日の例会案内 12月17日(木) 18:30 ~ 年忘れ家族会

★次回の例会案内 1月7日(木) 18:30 ~ 新年例会(会場・田町平安)



2015~2016年度
国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：野沢幹事

点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・
四つのテスト（山野辺倉平会員）

山野辺倉平会員



★ 結婚祝

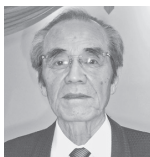


松崎 勉さん
(12月18日)

★ 誕生祝



山崎 洋次さん
(12月9日)



吉田 仁平さん
(12月12日)



仲沼 之博さん
(12月16日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



皆さんこんにちは。COP21で地球温暖化対策の会議のニュースが連日、報道されています。環境問題は多くの難問を抱えているようです。私は、水はタダではないことを、子供のころ駄弁のお茶を買って知りました。それでも長い間、水はタダという感覚があります。海外では「水は買って飲むもの」というのが常識ですから「今でも水道から出る水を直接、飲めるのは日本くらいじゃないかな…」などと言われては、まだまだ日本はいいんだなと思っています。

私は震災前までの十数年、植林事業に参加してきました。ナラやヒノキ、スギなどその年によって苗の種類は決められ、だいたい一人70本ぐらい、全部で3,000本を植えます。毎年、春に植えて秋に枝打ちや下草を刈る。水を守るために「里山」を守るわけです。

里山に対して白神山地のような、人が手を加えられないほどの奥深い山々を「奥山」と林業業界では呼びます。奥山の豊富な水がさらに里山へ流れ込み、川の源流＝水源は里山にありますから、計画的な植林を行えば、そこで水が涵養されて川に注ぎ込むわけです。

アルプス山脈のような奥山は、実は岩肌が多く、樹木が少なく水が一気に流れてしまい、保水されないため、スイスの人々は水を買って飲んでいるそうです。この日本の自然環境が「温暖化」によって失われない事を祈っています。

いい水は、お茶にとっても大事な要素であると思います。ゲストの武藤様の卓話を楽しみます。

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

卓話をお願いした安藤家御家流緑天会主宰の武藤真一様

◆幹事報告

〇いわき市国際交流協会より「ワールドアイ」が届きました。

委員会報告

◆出席委員会（佐藤淳委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
12月10日	49名	30名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄委員長）

松崎勉さん、飯野光世さん、平戸康明さん、三瓶和秀さん。以上4件

◆米山記念奨学会委員会（代理・鈴木東雄会員）

山崎洋次さん、松崎勉さん、飯野光世さん、三瓶和秀さん、松崎倫久さん、吉田仁平さん。以上6件

◆雑誌委員会（松崎倫久委員長）

〇ロータリーの友12月号の「見どころ読みどころ」紹介縦組 9～12ページ わがまち、そしてロータリー「松本市」

松本RCの継続事業で「市の木アカマツ」を守る活動をインターアクトクラブの協力も得て熱心に行っている。

縦組 33～34ページ ロータリーアットワーク行橋RC 青少年育成活動として高校生を招き台湾映画「KANANO～1931海の向こうの甲子園」を上映した。映画は昨年、台湾で大ヒットした。戦前、台湾にあった嘉義農林学校野球部が、日本人監督の指導により日本と台湾の弱小混成チームから個性を生かした強豪に成長し、甲子園大会で準優勝したという実話を基にした。

◆スマイルボックス委員会（黒須幸雄委員長）

♥松崎浩さん（武藤様卓話よろしくお祝い致します）♥吉田仁平さん（誕生祝ありがとう）♥仲沼之博さん（誕生祝有難うございます）♥山崎洋次さん（卓話よろしくお祝いいたします。誕生祝ありがとう）♥松崎勉さん（結婚祝ありがとう。早退します）♥関口武司さん（いわき明星大学の卒業生をこれまでに最も多く採用していただいたのが武藤さんの会社です。感謝申し上げます。本日の卓話宜しくお祈りします）♥佐々木芳弘さん（武藤様、卓話楽しみにしております）♥青木喜久男さん（武藤さん、卓話よろしくお祝い致します）♥浅倉哲也さん（武藤真一さんのお話を楽しみにしています）♥有賀行秀さん（武藤さん卓話よろしくお祝いします）♥竹谷金浩さん（武藤さん、卓話よろしくお祝いいたします）♥飯野光世さん（マルチプル・ポールハリス・フェロー表彰ありがとうございます。武藤さん卓話楽しみにしています）♥山野辺倉平さん（米山表彰有難うございました）♥鈴木東雄さん（早退します。よろしく）♥山崎慶一さん（早退致します）♥松崎倫久さん（今年も終了です。お世話になりました）以上16件